



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月8日

上場会社名 株式会社 ニレコ 上場取引所 東
 コード番号 6863 URL <http://www.nireco.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 寿治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 裕 光司 TEL 042-642-3111
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 平成30年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	3,975	11.5	386	88.4	423	64.4	244	40.4
30年3月期第2四半期	3,565	8.2	204	71.8	257	94.4	173	186.1

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 134百万円(△55.2%) 30年3月期第2四半期 299百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	32.93	32.63
30年3月期第2四半期	23.55	23.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	14,146	12,637	88.4
30年3月期	14,211	12,597	87.8

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 12,505百万円 30年3月期 12,472百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	10.00	—	14.00	24.00
31年3月期	—	10.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	14.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,600	8.7	810	14.8	860	9.7	560	8.4	75.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	8,305,249株	30年3月期	8,305,249株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	889,237株	30年3月期	889,236株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	7,416,013株	30年3月期2Q	7,385,376株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は当社ホームページに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、保護主義的な貿易政策による影響が懸念される中、堅調に推移しました。わが国経済は、底堅い設備投資や個人消費に支えられ緩やかな回復基調が続きました。

当社グループ（当社及び連結子会社）の主要取引先であります鉄鋼、電子部品、化学、印刷・紙加工、食品など各メーカーの設備投資に向けた動きは概ね堅調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、いかなる環境下においても成長できる体制の実現を目指し、海外販売拡大に向けた体制構築、食品関連市場の開拓を進めるとともに、当社グループが設立以来培ってきたセンシング及び画像処理技術の強化に注力しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高3,975百万円（前年同期比111.5%）、営業利益386百万円（前年同期比188.4%）、経常利益423百万円（前年同期比164.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益244百万円（前年同期比140.4%）となりました。また、受注残高は4,014百万円（前年同期比136.5%）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① プロセス事業

国内外鉄鋼メーカーの堅調な設備更新需要を背景に主に制御装置の更新や部品販売が拡大しました。

また、国内において新規開拓を目指した計測システム及び海外においてシェア拡大を目指した耳端位置制御装置の受注獲得が進みました。

その結果、当事業の売上高は1,320百万円（前年同期比110.2%）、セグメント利益は334百万円（前年同期比138.5%）となりました。また、受注残高は2,178百万円（前年同期比148.4%）となりました。

② ウェブ事業

主に国内外の二次電池や電子部品関連の堅調な設備投資需要により、耳端位置制御装置の販売が拡大しました。

その結果、当事業の売上高は1,721百万円（前年同期比108.1%）、セグメント利益は428百万円（前年同期比118.7%）となりました。また、受注残高は873百万円（前年同期比104.7%）となりました。

③ 検査機事業

多様な無地素材の検査需要を捉えた無地検査装置、選果設備の更新需要を捉えた食品外観検査装置の販売がそれぞれ拡大しました。

その結果、当事業の売上高は871百万円（前年同期比125.4%）、セグメント損失は5百万円（前年同期はセグメント損失13百万円）となりました。また、受注残高は861百万円（前年同期比136.8%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて64百万円減少し、14,146百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少362百万円、受取手形及び売掛金の減少188百万円、商品及び製品の増加64百万円、仕掛品の増加244百万円、原材料及び貯蔵品の増加86百万円、その他流動資産の増加227百万円、投資有価証券の減少127百万円があったことによります。

また、負債は前連結会計年度末に比べて104百万円減少し、1,509百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加32百万円、未払法人税等の減少45百万円、長期借入金の減少34百万円、繰延税金負債の減少25百万円があったことによります。

純資産は前連結会計年度末に比べて40百万円増加し、12,637百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加140百万円、その他有価証券評価差額金の減少92百万円、為替換算調整勘定の減少28百万円、新株予約権の増加17百万円があったことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)につきましては、営業活動により93百万円、投資活動により247百万円、財務活動により152百万円減少しました。その結果、当連結会計年度末の資金残高は前連結会計年度末と比べて503百万円減少し、4,177百万円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの概況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は93百万円(前年同期は685百万円の獲得)となりました。これは主なフローインとして、税金等調整前当期純利益423百万円、減価償却費89百万円、仕入債務の増加36百万円があり、主なフローアウトとして、たな卸資産の増加408百万円、法人税等の支払額219百万円、その他流動資産の増加237百万円があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は247百万円(前年同期比208百万円の増加)となりました。これは主に定期預金の払い戻しによる収入462百万円、投資有価証券の売却による収入21百万円、貸付金の回収による収入9百万円、定期預金の預け入れによる支出613百万円、固定資産の取得による支出141百万円があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は152百万円(前年同期比473百万円の減少)となりました。これは主に配当金の支払額103百万円、長期借入金の返済による支出34百万円があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、概ね当初予想した範囲で推移しており、前回発表(平成30年5月17日決算短信)の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,180,370	4,818,202
受取手形及び売掛金	3,066,823	2,878,058
商品及び製品	760,880	824,947
仕掛品	444,261	688,319
原材料及び貯蔵品	421,232	507,868
その他	138,647	366,609
貸倒引当金	△23,354	△22,373
流動資産合計	9,988,860	10,061,633
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,187,422	1,191,918
機械装置及び運搬具(純額)	50,092	50,281
工具、器具及び備品(純額)	119,790	98,566
土地	644,942	686,764
有形固定資産合計	2,002,247	2,027,530
無形固定資産		
のれん	301,266	263,607
リース資産	13,192	7,362
その他	57,773	90,874
無形固定資産合計	372,231	361,844
投資その他の資産		
投資有価証券	1,582,983	1,455,508
長期貸付金	116,090	106,732
繰延税金資産	15,127	16,054
破産更生債権等	18,704	18,704
その他	176,433	159,942
貸倒引当金	△60,801	△61,010
投資その他の資産合計	1,848,536	1,695,931
固定資産合計	4,223,016	4,085,305
資産合計	14,211,876	14,146,938

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	405,472	438,104
1年内返済予定の長期借入金	69,996	69,996
リース債務	9,845	6,575
未払費用	436,434	438,513
未払法人税等	247,583	201,603
未払消費税等	43,310	36,791
役員賞与引当金	23,520	15,000
工事損失引当金	35,381	31,032
その他	200,444	201,642
流動負債合計	1,471,988	1,439,259
固定負債		
長期借入金	58,350	23,487
リース債務	3,533	901
役員退職慰労引当金	2,240	2,905
退職給付に係る負債	38,660	28,920
繰延税金負債	40,003	14,316
固定負債合計	142,787	70,530
負債合計	1,614,776	1,509,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,072,352	3,072,352
資本剰余金	4,124,646	4,124,646
利益剰余金	5,358,716	5,499,110
自己株式	△603,318	△603,319
株主資本合計	11,952,397	12,092,790
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	465,927	373,587
為替換算調整勘定	92,434	63,882
退職給付に係る調整累計額	△38,391	△24,941
その他の包括利益累計額合計	519,970	412,528
新株予約権	29,407	46,627
非支配株主持分	95,324	85,201
純資産合計	12,597,100	12,637,149
負債純資産合計	14,211,876	14,146,938

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	3,565,828	3,975,424
売上原価	2,172,281	2,406,476
売上総利益	1,393,546	1,568,947
販売費及び一般管理費	1,188,635	1,182,845
営業利益	204,911	386,101
営業外収益		
受取利息	7,483	5,644
受取配当金	15,175	18,692
補助金収入	33,251	13,948
その他	5,866	8,617
営業外収益合計	61,775	46,901
営業外費用		
支払利息	5,452	668
支払手数料	—	1,900
為替差損	785	2,192
その他	2,764	4,498
営業外費用合計	9,002	9,259
経常利益	257,684	423,744
税金等調整前四半期純利益	257,684	423,744
法人税等	80,400	177,805
四半期純利益	177,284	245,939
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,364	1,720
親会社株主に帰属する四半期純利益	173,919	244,218

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	177,284	245,939
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	108,200	△92,340
為替換算調整勘定	737	△32,564
退職給付に係る調整額	13,746	13,449
その他の包括利益合計	122,684	△111,454
四半期包括利益	299,968	134,484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	297,547	136,776
非支配株主に係る四半期包括利益	2,420	△2,291

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	257,684	423,744
減価償却費	111,782	89,746
のれん償却額	37,658	37,658
長期前払費用償却額	3,993	200
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,170	△8,520
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,063	△701
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	28,839	△4,349
退職給付に係る資産負債の増減額	32,507	△9,739
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5,506	665
受取利息及び受取配当金	△22,658	△24,336
支払利息	5,452	668
為替差損益 (△は益)	△583	1,999
投資有価証券売却損益 (△は益)	△258	△208
有形及び無形固定資産除却損	5	1,600
売上債権の増減額 (△は増加)	464,909	177,701
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△82,220	△408,028
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△79,032	△237,328
仕入債務の増減額 (△は減少)	22,921	36,919
未払費用の増減額 (△は減少)	4,121	2,698
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△109,441	△11,155
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	91,686	15,714
その他	8,517	17,220
小計	765,147	102,171
利息及び配当金の受取額	22,340	25,086
利息の支払額	△2,973	△710
法人税等の支払額	△100,816	△219,965
法人税等の還付額	1,868	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	685,566	△93,418
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△437,609	△613,215
定期預金の払戻による収入	359,722	462,253
固定資産の取得による支出	△8,645	△141,669
投資有価証券の取得による支出	△2,193	△2,214
投資有価証券の売却による収入	32,382	21,386
貸付金の回収による収入	11,311	9,529
その他の支出	△2,901	△2,622
その他の収入	9,339	19,326
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,594	△247,227

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△548,913	△34,998
社債の償還による支出	△30,000	—
自己株式の売却による収入	40,977	—
自己株式の取得による支出	△10	△1
配当金の支払額	△74,178	△103,747
非支配株主への配当金の支払額	—	△7,830
その他	△14,255	△5,902
財務活動によるキャッシュ・フロー	△626,378	△152,479
現金及び現金同等物に係る換算差額	871	△10,345
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	21,464	△503,470
現金及び現金同等物の期首残高	4,781,546	4,680,577
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,803,010	4,177,106

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,198,173	1,593,076	694,985	3,486,234	79,594	3,565,828	—	3,565,828
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,198,173	1,593,076	694,985	3,486,234	79,594	3,565,828	—	3,565,828
セグメント利益 又は損失 (△)	241,655	360,673	△13,161	589,167	△57,387	531,780	△326,869	204,911

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△326,869千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,320,681	1,721,699	871,266	3,913,646	61,778	3,975,424	—	3,975,424
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,320,681	1,721,699	871,266	3,913,646	61,778	3,975,424	—	3,975,424
セグメント利益 又は損失(△)	334,614	428,299	△5,787	757,126	△55,518	701,608	△315,507	386,101

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△315,507千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。